

・・・日吉台中学校2年生3名が、猛暑にも負けず区役所で職場体験を行いました。・・・

7月5日、6日の二日間、日吉台中学校の2年生が地域事業所、学校、保育園、公共機関等で職場体験学習を行いました。区役所には、3名の生徒が、こども家庭支援課を中心とした様々な仕事を体験しました。



こども家庭支援課であいさつをした後、案内ボードを使って、区役所の仕事の概要について説明がありました。その後、区役所内を見学しました。



屋上庭園



1日目の体験は、選挙管理委員会の仕事体験、市長選挙についてのグッズを詰め込み、自治会の代表の方とともに大倉山駅で啓発活動を行いました。



午後からは、選挙人名簿の裏表紙の作成を行いました。



2日目は、日吉の宮前公会堂で開催された「赤ちゃん会」の運営に参加しました。地域の民生・主任児童委員の方と一緒に会場設営、受付、赤ちゃんとのふれあい活動を積極的に行っていました。参加されたお母さんからも「頑張って」等の励ましの言葉をいただきました。



区役所に戻り、子ども家庭支援課の仕事と生徒から職員に対して「この職業を選んだ理由・・・」などのインタビューが行われました。



《区役所の色々な業務を体験してみてどうでしたか?》

体験された生徒さんに感想を書かせていただきました。

日吉台中学校 2年 栗橋 美羽

私が職場体験に行く前は、大人って、考えていることがよく分かりませんでした。でも、この職場体験を通して大人も私たちと同じような感じの人だな、と思いました。そのことを強く感じたのは、2日目の質問時間のときです。「仕事において大事なことは何ですか。」という質問の解答が「約束を守ること」というものでした。私はそれを聞いて、ハッとしました。実は、1日目のあとにお母さんに怒られていて、そのとき「約束を守らない人だったら、お母さんもあなたとの約束を破るからね」と言われました。約束を守らなかったら信頼を失います。約束を守るっていうのは、相手との信頼を守るうえで一番大切なんだと気づきました。今の私には、それができていません。これからは、そのことを考えて、行動したいと思います。

日吉台中学校 2年 齋藤 杏佳

私は、今回の職業体験学習で区役所に行く、と決まったときは、厳しい仕事をたくさんするようになるのかな、と思いましたが、実際行ってみると、難しい仕事もあったけれど、丁寧に教えて頂いたため、楽しく学ぶことができました。しかし、だからこそ今の自分にはできないような辛い仕事を大人の方々がやっているのを知り、とても驚きました。事前訪問で私達は、なぜ、どうしてこのような仕事をしているのか、考えてみてねと言われ、区民の人のためだけじゃないのか、と思いました。が、実際訪ねてみると、区民の人達もそうですが、それだけでなく、課によって、区民の誰のために、どんな事をするか忘れないよう、常に目的があることが分かりました。他にも学んだ事はとても多く、私は仕事について浅く考え過ぎていたと思いました。なので私は、自分の目的を忘れずに仕事ができる大人になりたいと思いました。

日吉台中学校 2年 近藤 美咲

私は、今回の職業体験で2つの大切な事を学びました。

1つ目は、小さな約束でも必ず守るという事です。約束を守るとは相手との信頼を結ぶことであると思います。一度でも約束を守らないと相手への信頼を失うことになってしまいます。

2つ目は、働いている人は辛い時でも誰かのために頑張っているということです。今回の職業体験を通して働く人の大変さがとてもよくわかりました。それでも毎日働いてくれている家族に感謝の気持ちを持って生活していきたいなと思います。また、人との関わりも大切にしなければいけないのだとわかりました。今回学んだことをこれからの将来にいかしていきたいと思います。